

# 資料

(社会保障審議会 企業年金・個人年金部会  
委員の主な意見)

令和5年10月27日

厚生労働省

## 企業年金全般

- 企業年金の受託者責任に係る制度はここ二十数年で改善を重ねてきており、企業年金は資産運用の高度化に真摯に取り組んできたところ。こうした前提に立ったうえで、資産運用立国における運用力の向上について議論すべき。
- 企業年金は、労使の自治に基づく福利厚生制度の一部で、公的年金の上乗せとして、退職後の生活の安定を確保するために行うもの。企業年金の観点からは、市場の活性化のために積極的な投資を促進すべきというものではない。
- 資産運用立国について、企業年金は公的年金の補完的機能、制度的保障としての制度であるので、その点が損なわれないように留意する必要。
- 資産規模が小さい企業への配慮が必要。人員が少なく事務などが負担になっている可能性があり、シンプルな取組が望ましい。
- 企業の負担を大きくしすぎると、そもそも企業年金をやめることに繋がりがねず、配慮が必要。企業年金における運用とは、許容されるリスクの中で利益を確保することであり、更に低流動性資産を含む分散投資の推進を求めると、企業年金に大きな負担となる。

## アセットオーナー・プリンシプル

- アセットオーナーの目的や役割は様々で、一つに括ることはできない。この点を認識した上で傘をかけていかないと、本来の目的と逆方向の、足を引っ張るような仕組みになりかねない。
- プリンシプルは、規制ではなく、あくまで原則であり、その方向で議論をしてほしい。特に、日本は小規模DBが多いところ、過度な負担にならないように配慮が必要。

## 運用力の向上

- 企業年金の役割とは、受益者に約束した給付を行うことであり、運用収益の極大化が一番の目的にはこない。企業年金の予定利率は、給付のためにどの程度を掛金として用意するか、計算するものであって、低いと悪い・高いと良いという評価にはならない。
- 運用力の向上は何かと考えた時に、目標と実際との誤差をできるだけ小さくする、リスクの極小化も、企業年金の大切な運用力の1つと考えている。
- 企業年金制度は従業員の老後の所得確保のため、労使合意の下で進められているものであり、運用目標を引き上げることで、従業員の損失に繋がるようなことはあってはならない。

## DBの運用の見える化

- 企業年金の運用の見える化は、加入者・受給権者のために行うべきもの。この点、DBは資産運用実績だけをみると見誤ることになるので、財政状況全体を踏まえて判断すべきであり、丁寧な議論が必要。
- DBの運用の見える化について、誰のためかを考えることが重要。労働条件としての情報開示との重なり合いはあるのではないか。
- 企業・基金から加入者・受給者への情報開示は既になされているので、この延長線上で、例えば母体企業の財務諸表に企業年金の情報を開示する、厚生労働省あるいは企業年金連合会が数字を開示するといった対応をすることは、やぶさかではないのではないか。
- DBの運用の見える化について、加入者のためということであれば、将来の受取額の見える化がなされるべき。そもそも加入しているか知らない人がいたり、将来の受取額を知らない人もいる。米国のように企業年金の情報開示を行うべきとの意見はあるが、退職給付会計の導入により、既に株主に一定の情報が開示されており、追加的な開示が重要な内容を含むのか、懐疑的。

## 適切な商品選択

- 資産運用立国は、運用業という産業を育てるという話だけではなく、家計金融資産の約半分を占める現預金を、企業の持続的成長、ひいては国民の資産形成に繋げていくことが目的であると認識している。個人に長期の資産運用を促すという点で、企業型DCは重要な役割を果たしている。
- 企業型DCにおいて事業主による運営管理機関の評価が努力義務化されたが、情報の非対称性等により、評価する視点が十分でないと感じる。例えば、（今後設立予定の）金融経済教育推進機構などの中立的な機関が、企業をサポートしていくことが重要ではないか。
- 定期的な投資教育は、従業員が商品のラインナップを変えるべきと気づくきっかけにもなり、非常に重要。
- 商品の入替につき、運営管理機関に対応を渋られたとの話を聞くと、運営管理機関は、従業員ファーストで積極的に商品の入替を提案してほしい。
- 指定運用方法は、労使自治で決めることが重要。指定運用方法の選定プロセスを通じて、事業主と運営管理機関との対話が増え、運営管理機関を評価しやすくなるのではないか。

## DCの見える化

- 運営管理機関の運用の方法の一覧は公開されているが、その一覧を活用できるのは一部の大企業だけだろう。比較しにくいPDFファイルで掲載されていたり、金融機関ウェブサイトの奥底にあるなど、課題がみられる。